

町長と語ろう！地域をデザイン！ 協働と挑戦のまちづくり座談会

目次

～町の人口と財政事情～(人口推移・財政状況)・・・P1

1. 持続可能な町を創る(地方創生等)・・・P9

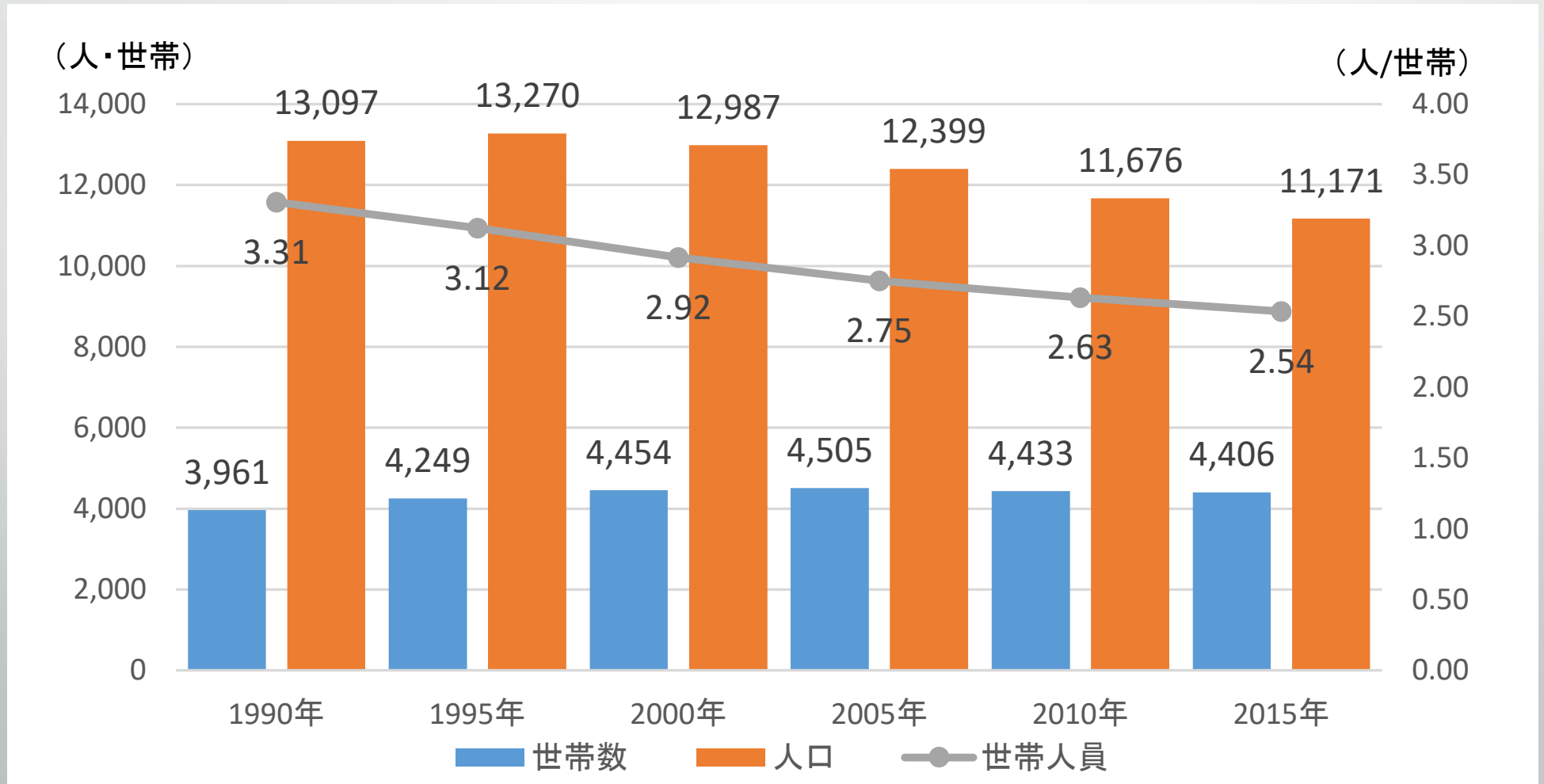
2. 未来の主役へ投資する(教育・子育て等)・・・P20

3. 町の強みをもっと強く！(駅前整備、住環境、自然環境)・・・P27

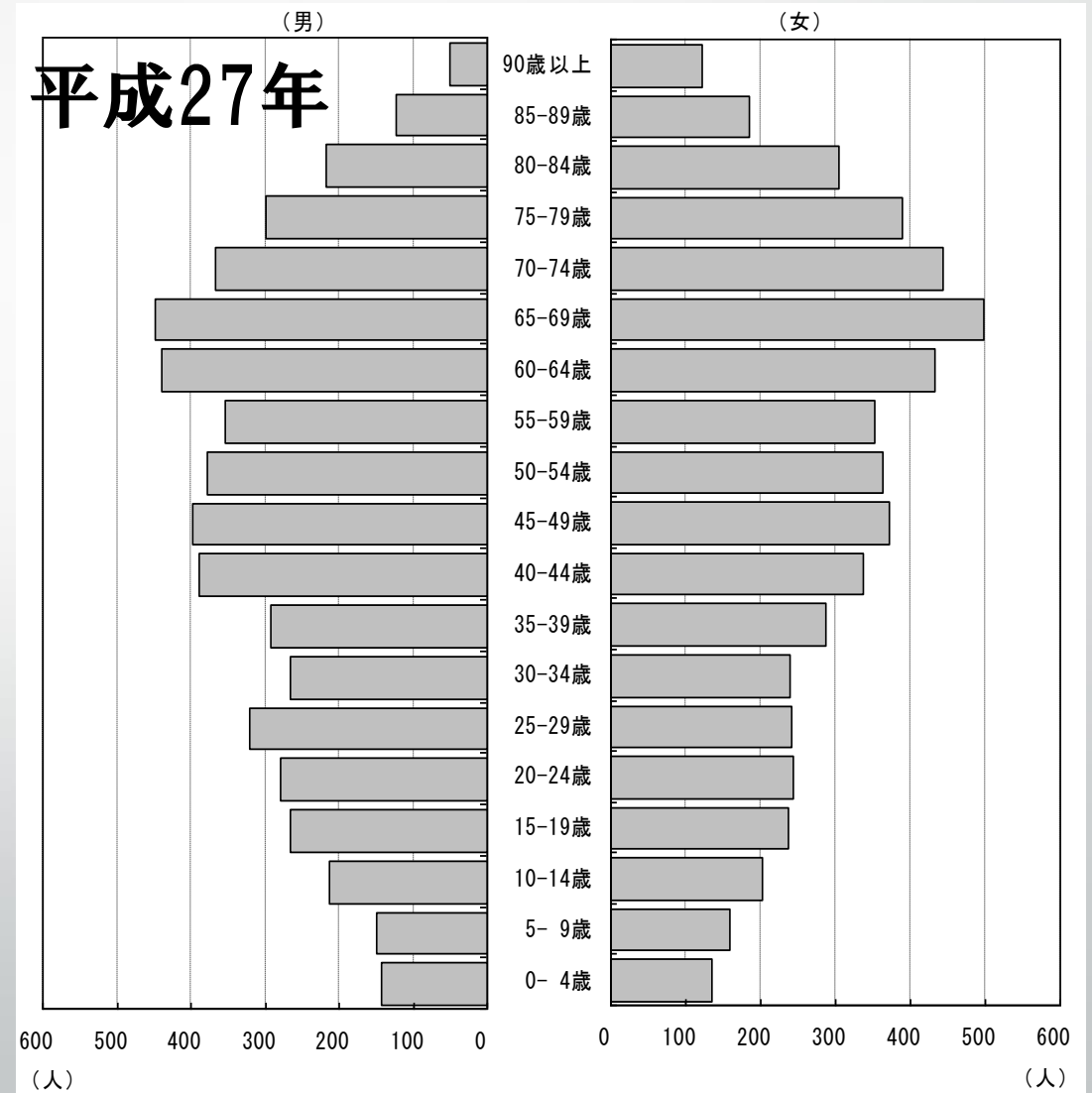
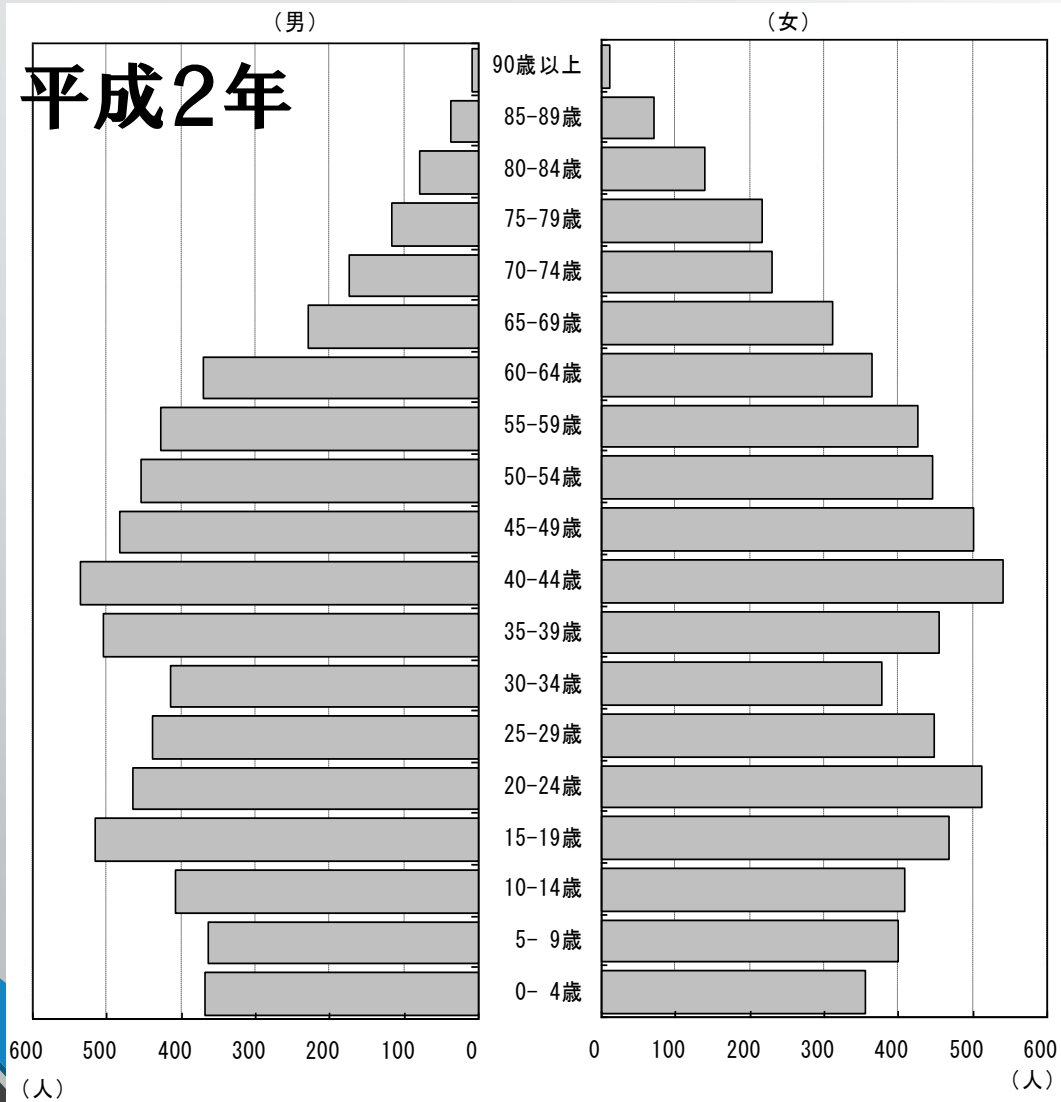
平成30年度 地域座談会

松田町

①人口推移 松田町の人口は、平成7年から20年間で約2,000人減少しています…



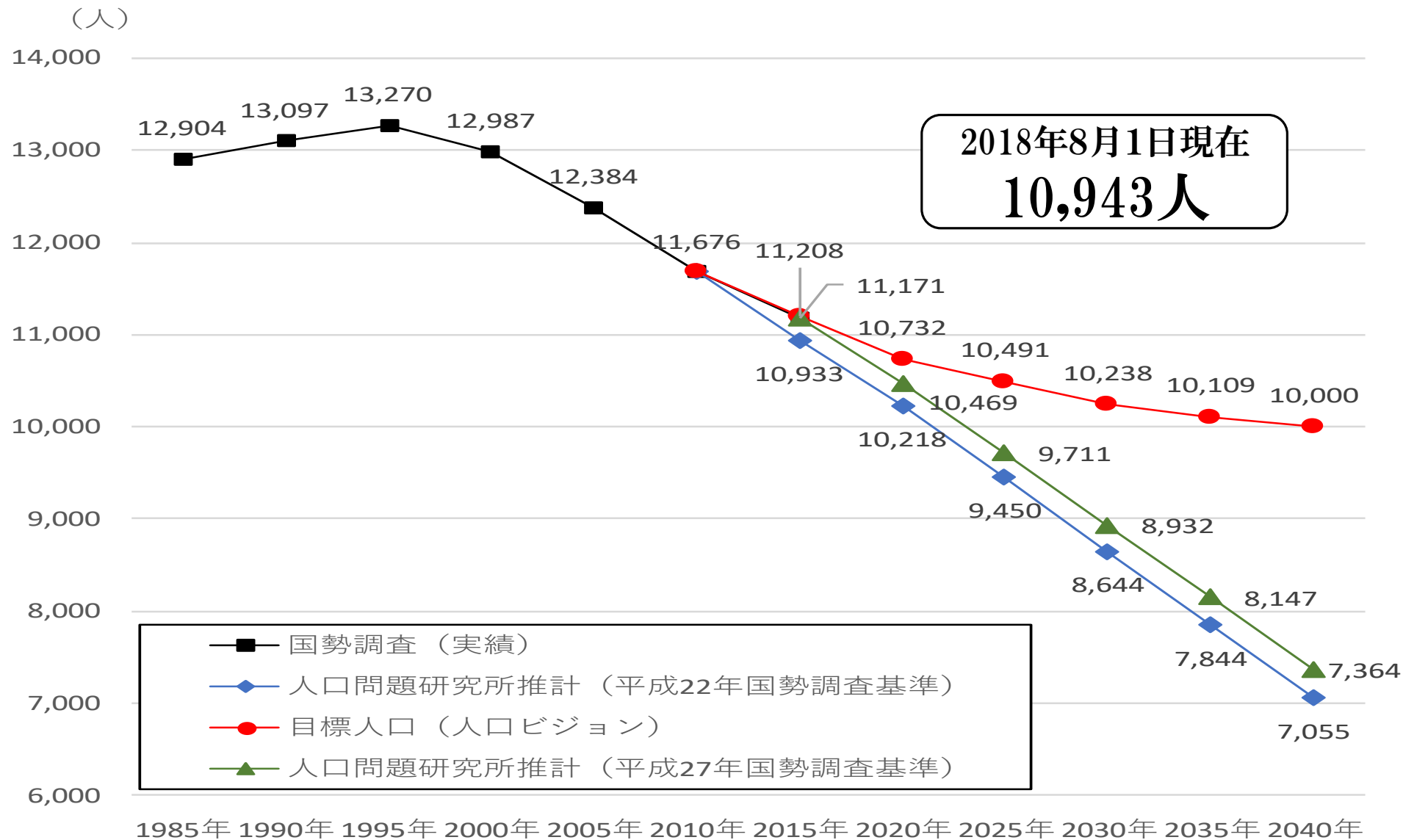
①人口推移 人口構成はピラミッドからツボ型へ



①人口推移 自治会(旧行政区)の人口

旧行政区	自治会	平成2年	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
		実数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数
1区	町屋・店屋場	1,532	1,583	51	1,779	196	1,832	53	1,881	49	2,039	158
2・3区	神山	1,029	1,031	2	1,074	43	1,012	-62	943	-69	870	-73
4区東西	茶屋・河内・中丸	1,849	1,831	-18	1,641	-190	1,469	-172	1,353	-116	1,242	-111
5区	中央	341	306	-35	278	-28	250	-28	218	-32	230	12
6・7区	仲町	568	543	-25	472	-71	415	-57	377	-38	329	-48
8区	新松田	269	234	-35	261	27	225	-36	218	-7	181	-37
9区	谷戸	447	416	-31	383	-33	360	-23	328	-32	310	-18
10区	中沢	259	229	-30	211	-18	172	-39	164	-8	151	-13
11区	沢尻	851	884	33	911	27	888	-23	815	-73	825	10
12区	谷津	350	345	-5	350	5	358	8	372	14	400	28
13区	宮前	330	327	-3	292	-35	323	31	261	-62	258	-3
14区東	かなん沢	470	466	-4	499	33	517	18	492	-25	433	-59
14区西	中里	680	698	18	664	-34	601	-63	540	-61	495	-45
15区	城山	877	878	1	846	-32	901	55	943	42	902	-41
17区	仲町屋	971	877	-94	761	-116	715	-46	649	-66	629	-20
	松田地区	10,823	10,648	-175	10,422	-226	10,038	-384	9,554	-484	9,294	-260
18区	萱沼	208	211	3	216	5	183	-33	147	-36	136	-11
19区上下	弥勒寺	684	937	253	964	27	924	-40	858	-66	732	-126
20区	中山	69	51	-18	43	-8	40	-3	35	-5	31	-4
21区	土佐原	82	93	11	101	8	91	-10	73	-18	58	-15
22区	宇津茂	248	316	68	323	7	306	-17	269	-37	241	-28
23・24区	大寺宮地	277	292	15	296	4	277	-19	251	-26	235	-16
25・26区	虫沢田代	409	478	69	481	3	438	-43	401	-37	352	-49
27区	湯の沢	356	365	9	383	18	385	2	347	-38	337	-10
	寄地区	2,333	2,743	410	2,807	64	2,644	-163	2,381	-263	2,122	-259
合計	町全体	13,156	13,391	235	13,229	-162	12,682	-547	11,935	-747	11,416	-519

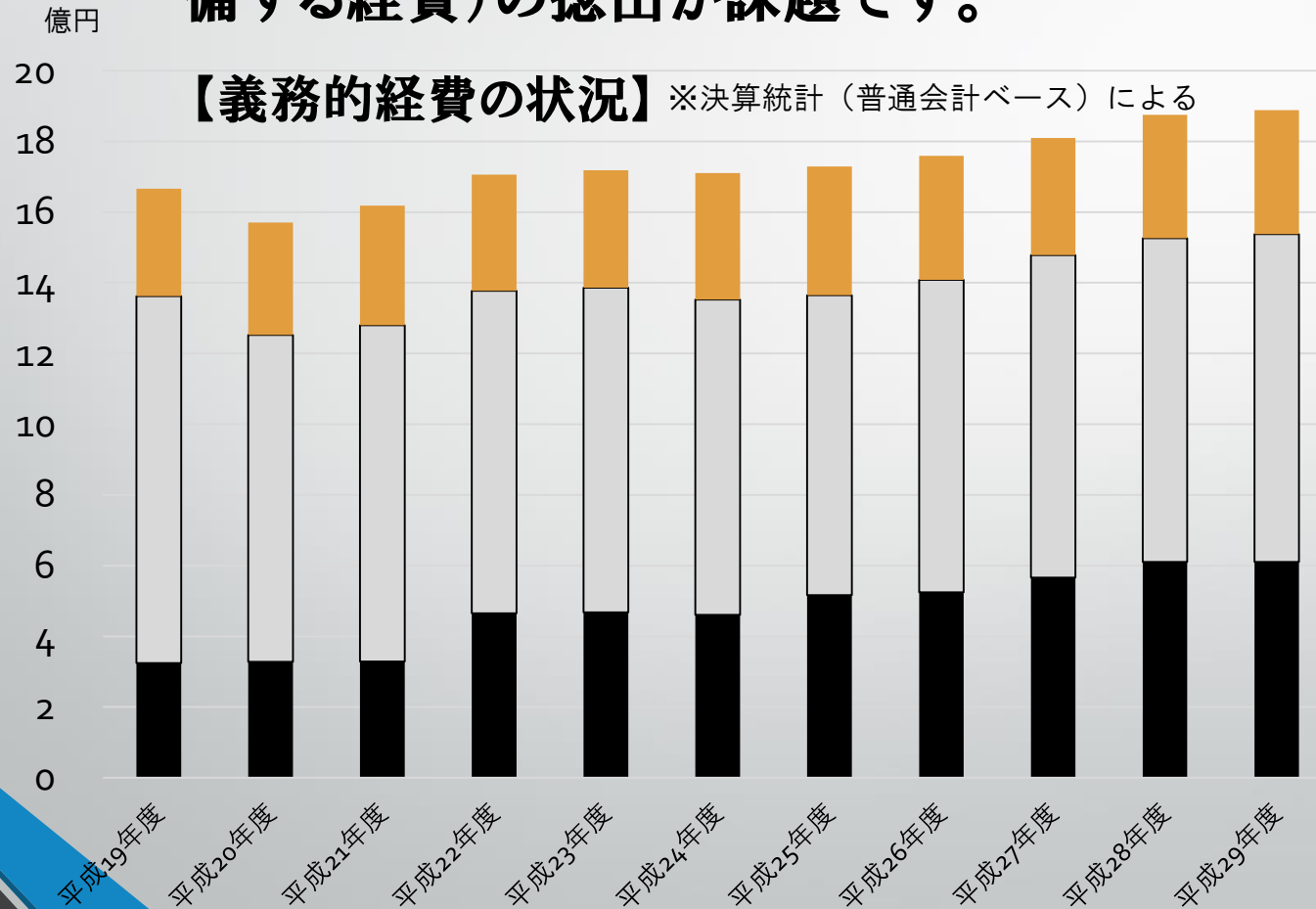
①人口推移 2040年度の人口は10,000人を目標



②財政状況 扶助費の伸びを踏まえた財政運営を！

高齢者福祉や児童福祉といった「命」や「生活」に直結する扶助費が伸びているため、義務的経費（削減が困難な経費）の負担は年々大きくなっています。

今後は、更にこの傾向が加速するため、投資的経費（将来に残る施設等を整備する経費）の捻出が課題です。



●公債費

借入金を返済する経費。
臨時財政対策債（交付税により返済額は国が補償）の返済が増えているため、微増。

●人件費

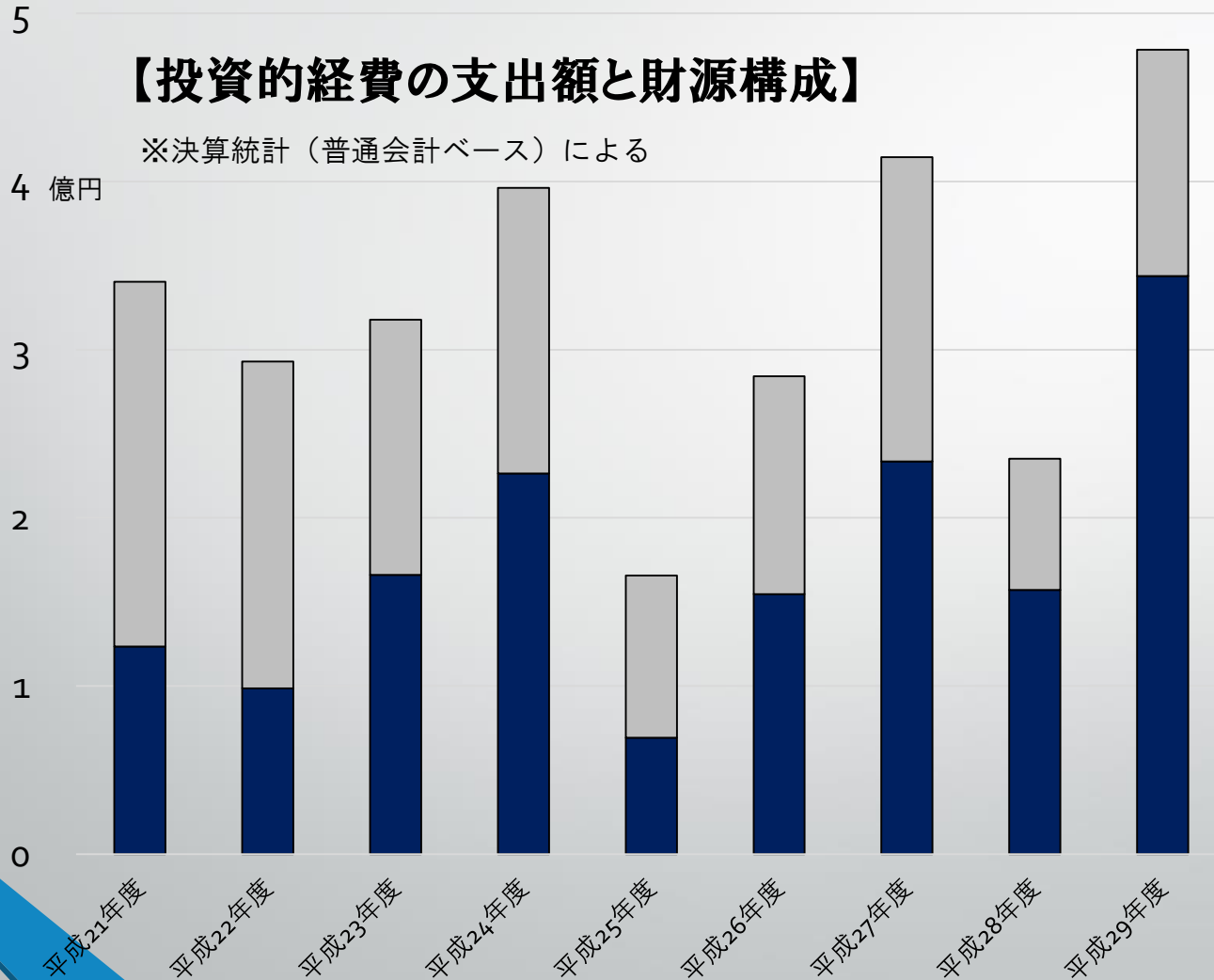
職員給料や議員報酬。
10年前と比べ10%以上減。

●扶助費

社会保障制度の一環で、高齢者・児童・障害者などに対して町が行う支援の経費。
10年前に比べると約2倍。

②財政状況 投資的経費は補助金等を最大限活用！

義務的経費の増加により、投資的経費に使える一般財源は限られます
投資的事業は、知恵とアイデアで補助金などを有効活用して推進します！



●一般財源

地方税や地方交付税といった使途に制限のない財源で、町が自主的に使い方を決定できるもの。

義務的経費の増加から、投資的経費に使える一般財源が限定。

●特定財源

国や県の支出金、地方債など、使い道が特定されている財源。

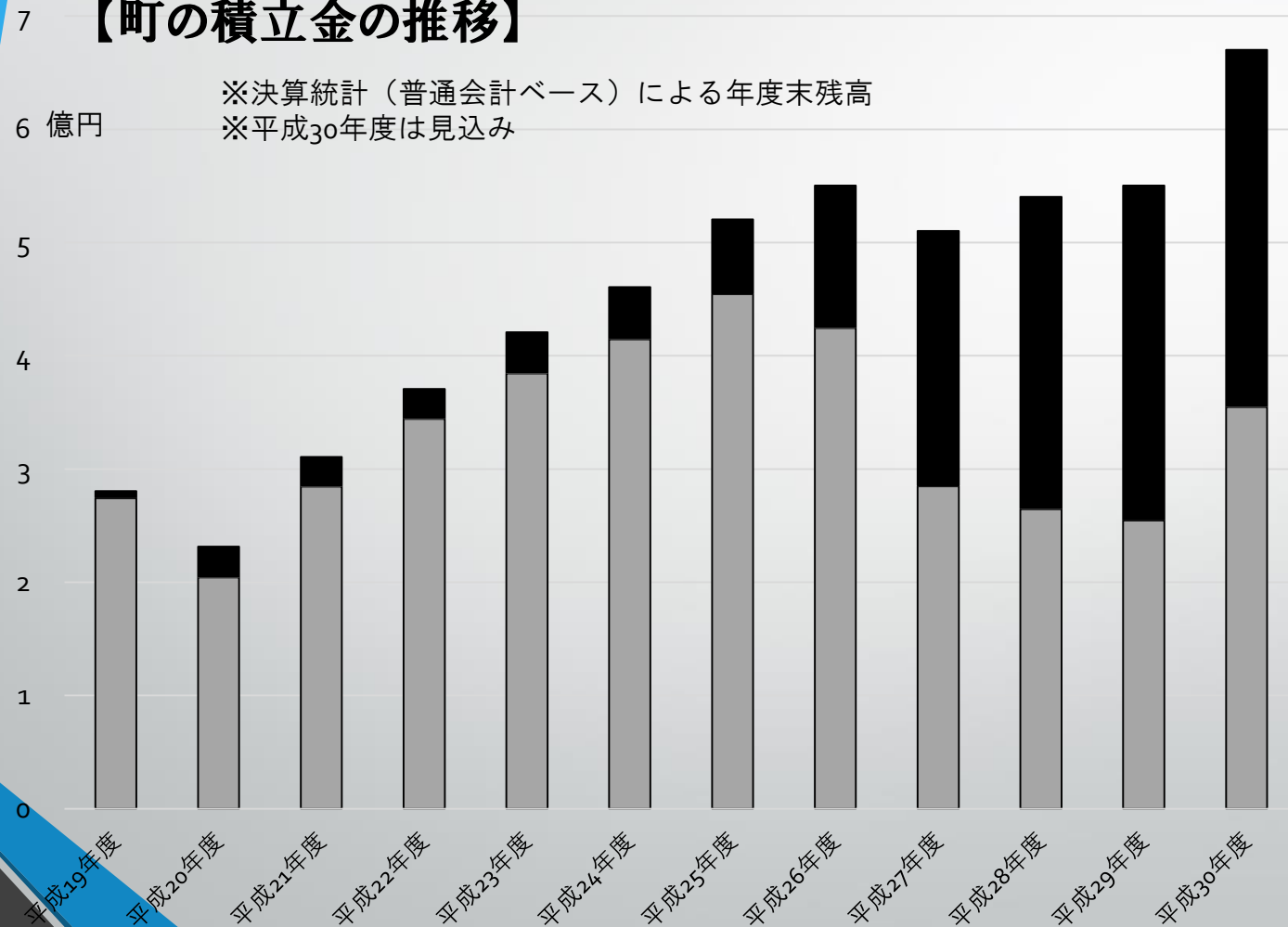
知恵とアイデアで、補助金(国・県等)や交付税措置のある起債(補償のある借入)などを有効に活用し、特定財源を調達することで、必要な投資を抑制することなく実施。

②財政状況 財政基盤を固めて将来の支出に備えます

目的をもった基金を計画的に積み立て、将来に備えています。

現在は学校建設を見据え、教育施設整備基金を重点的に積み増しています。

【町の積立金の推移】



●特定目的基金

大規模公共施設の整備など、特定の目的を計画的に実施するため、用途を限定した積立金
例：教育施設整備基金
体育振興基金

●減債基金

将来の地方債償還（借金返済）に備えた積立金

●財政調整基金

財源に余裕があるときに積み立て、不足するときに取り崩すことで、年度間の財源調整を行うための積立金

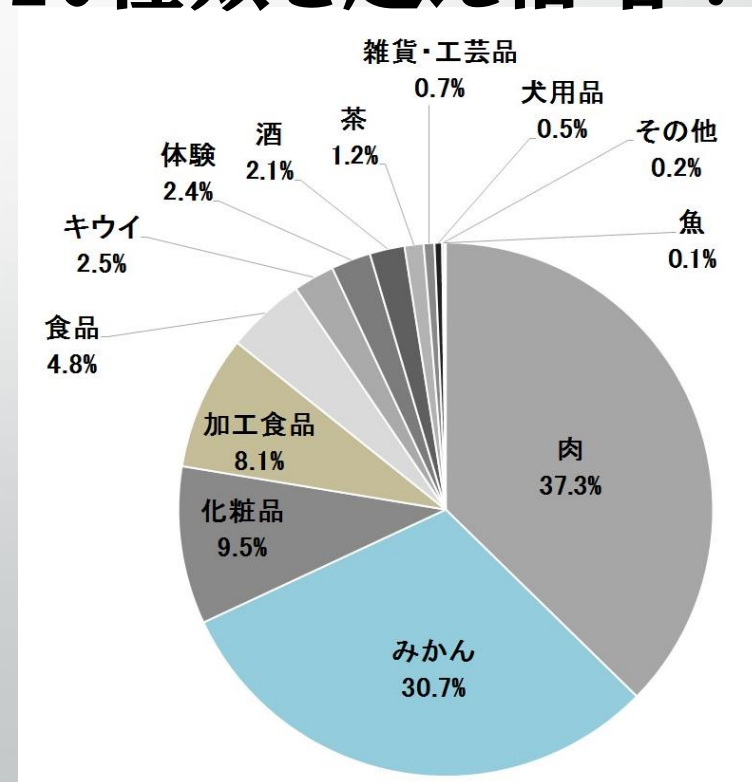
③ふるさと納税は町の特産が人気です！ 寄附額は、1億円を突破しました

●平成29年度は4,936件、1億287万円のご寄附を頂きました(平成28年度は4,386件、7,368万円)。
返礼品目は120種類を超え倍増！



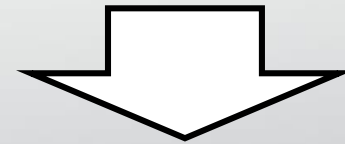
返礼品は平成28年度に引き続き「みかん」と「肉類」が人気でしたが、包括連携事業者からの品目を希望される方も多くなっています。

返礼品の割合➡



1. 持続可能な町を創る(地方創生)

- 松田町には、豊かな自然や先人が培った歴史や文化など、未来に「つないで」いかねばならないものがある。
- どんなに素晴らしい「モノ」や「コト」、さらに「命」は、無くなってしまえば意味が無い。私たちには「つなぐ」使命がある。
- 今のままでは人口が減少し、ふるさと松田は消滅の危機。
- 今こそ、何かを「変える」、新たなことに「挑戦する」勇気と決断が必要。



● 実現性と効果を追求し、経済的な視点からも持続可能な「松田町」を創る。

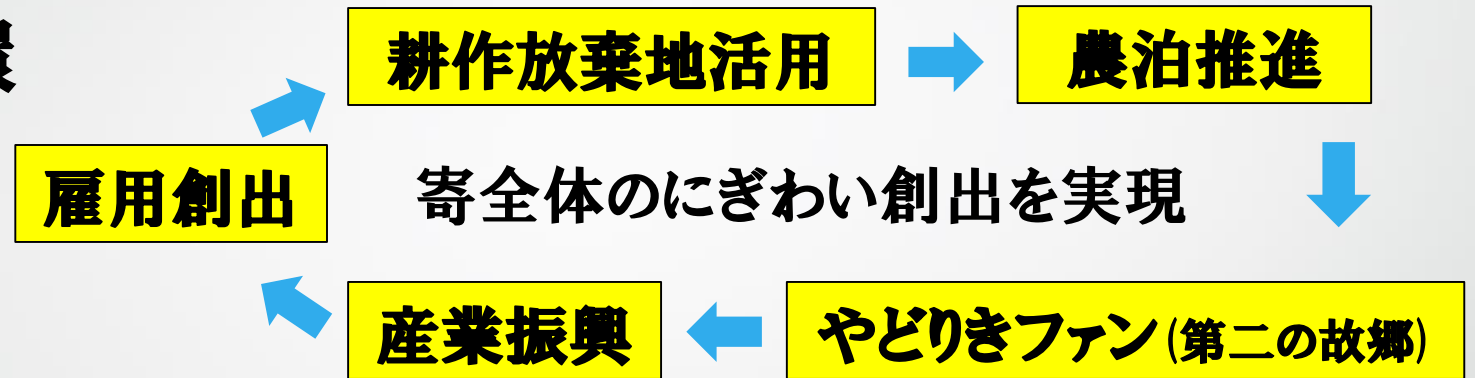
①Yadoriki Healing Village 事業 やどりき ヒーリング ヴィレッジ 通称：YHV



人口減少が著しく、荒廃農地の拡大、有害獣被害が深刻な寄地域において、関東最大規模のドッグランやカフェを起点に、周辺環境や施設と連動して活性化を推進する事業です。

①Yadoriki Healing Village 事業 生まれ変わったドッグランやカフェが地域を牽引

●目指す好循環



●YHV事業は寄全域へ！

YHV事業は、平成28年度からスタートしました。
地域の宝(資源)を活用して、地域が稼げる事業を検証(実証)した結果、地域食材のブランド・商品化、滞在型観光を促進するための農泊事業に取り組んでいくこととしました。

①Yadoriki Healing Village 事業 地域の宝(食材)の商品化・ブランド化

●新たなレシピを専門家がプロデュース!

料理の専門家がサクラマスや、ユズ等の素材を活用したレシピをプロデュースします。



●お茶やソバの新プロジェクトがスタート!



魅力ある農業体験プログラムの実施とプロ監修の高付加価値商品を開発・販売促進します。



●創っています! 松田の酒

2019年4月、松田町は町制施行110周年を迎えます。耕作放棄地の対策を兼ねて、記念酒の酒米づくりに取り組んでいます。



①Yadoriki Healing Village 事業 滞在型観光を促進するための農泊事業



●滞在時間を延ばす！

地域のスポットをつなげ、より魅力的な事業とし、滞在時間を延ばすことで地域経済の活性化を目指す。

●資源の向上・人財の育成

農泊事業を通じて、既存資源や携わる人財がブラッシュアップされる相乗効果。

●古民家を農泊施設に改修します

農泊体験時に宿泊する施設として、自然休養村管理センターと萱沼の古民家(町有)を、本年度、国の補助を活用してリノベーションします。



②Yadoriki Healing Village 事業 シカやイノシシを撃退！有害獣対策を推進！

町では、平成28年度から国等の支援を活用し、町内の農業に大きな被害を及ぼす有害獣対策に取り組んでいます。

センサーカメラによる実態調査、箱ワナを設置した試験捕獲、広域防護柵状況調査などを実施した結果、試験捕獲数は下表の他に49頭（平成28年度実績：イノシシとシカの計）でした。



●捕獲の実績

年度		平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年		
実施区域		寄	松田	計	寄	松田	計	寄	松田	計	寄	松田	計	寄	松田	計
イノシシ	銃器	2	0	2	2	0	2	1	1	2	7	0	7	3	2	5
	わな	3	1	4	4	3	7	3	7	10	8	15	23	8	22	30
シカ	銃器	14	35	49	21	16	37	19	12	31	21	17	38	40	33	73
	わな	4	5	9	6	1	7	1	1	2	9	4	13	24	29	53
わなの計		13			14			12			36			83		

②Yadoriki Healing Village 事業 減少するハンターを育成し、後継者対策！

有害獣駆除は、主に猟友会の支援により成り立っていますが、今後、高齢化等によりハンターが不足するおそれがあります。町では、若者や女性など新たな担い手を掘り起こし、育成するために、狩猟の講習や見学・体験によるハンター塾を開講しています。

＊平成30年度参加状況：松田地区22人、寄地区24人



講習では、基礎的な知識等の取得はもとより、新たな対策の可能性としてドローンの講習を開催し、また、今後、ジビエ料理につながる解体体験なども実施していきます。

●ご利用ください！ 町の補助制度

- ① 有害獣駆除報奨金【補助額】3,000円/一体
- ② 有害獣防止柵設置材料費補助【補助額】1,500円/m
- ③ 狩猟免許取得費用の補助【補助内容】免許取得経費

③町民文化センターリノベーション事業 文化の拠点から複合機能を有する拠点へ！



●文化センターが抱える課題

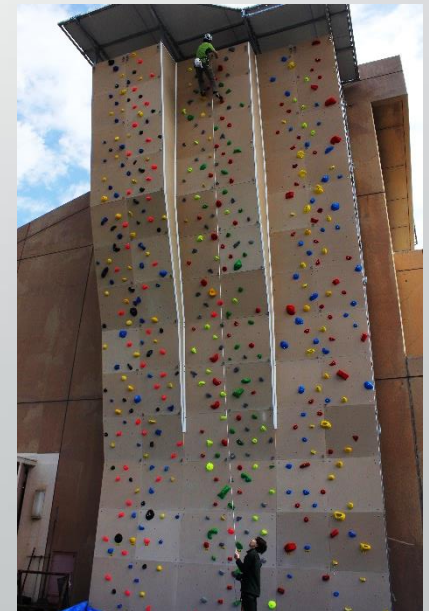
- ・建設後37年が経過し、施設・設備の老朽化が激しい
- ・利用者は、ピーク時の3割まで落ち込んでいる
- ・近隣市町に同種の文化施設が建設された
- ・施設の維持費用は増加、建替えには莫大な費用が…



●時代やニーズにマッチした新たな活用が必要



平成29年度、運動・スポーツ機能(クライミングウォール、トレーニングルーム)を加える改修を実施。また、老朽化の著しい大ホール照明・音響等の舞台設備更新や、調理実習室は未病改善料理などを開発できるようグレードアップを図りました。さらに、本年度も国際交流拠点としての機能整備などに取り組めます。



③町民文化センターリノベーション事業 ～賑わいが地域を活性化させる～ 複合拠点施設へ



最新の舞台機器によって優れた演出が可能となり、各種イベントの誘致を促進。

文化

運動・
スポーツ



スポーツクライミングのメッカとなり、各種大会の誘致や開催を目指す。

人がつながり
多様な文化を
織りなす場

国際
交流

未病
改善



国際交流事業の拠点として活用を促進していく。

未病改善レシピを開発し、青空広場では料理の試食会を。



④女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業 女性目線の新たな「まちづくり」に向けて！



●男女共同参画プラン

男女が平等の機会と利益を有し、責任を負う社会づくりを進めるプランを策定しました。女性活躍の取組みの基盤となる計画です。

●人口維持のカギは若い女性

本町が、消滅可能性都市として指名された主な原因は、若い女性の転出超過でした。

若い女性の減少は、少子化に拍車をかけ、未婚率は上昇していく負のサイクルを引き起こします。一方で、女性のしなやかな感性は、さまざまなトレンドを創るなど注目されており、新たなまちづくりでは重要な視点となっています。

●女性活躍総合戦略

女性が自分らしく、生きがいをもって暮らせるよう人生の各ステージを支える施策を戦略としてまとめました。これにより、若い女性の人口減少を抑制し、本町の人口を維持します。

④女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業 旧松田土木事務所で子育て&就業支援を



●松田町女性活躍拠点施設(仮)

今年度、女性が活動する拠点として、子育て・生活支援機能を旧松田土木事務所に一体的に整備します。

女性を中心とした雇用創出と子育て世帯の支援策を効果的に実施するため、子育て支援センター・ファミサポの移設や、次のようなコンテンツを提供する民間事業者の誘致を行っていきます。

【例1】雇用の創出、働く場の創出:

コワーキングスペース、貸し会議室、シェアオフィス等

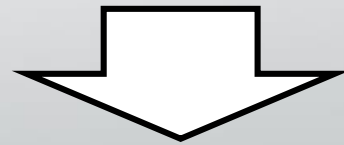
【例2】子育て支援、生活支援機能:

託児コーナー(一時預かり)、ママカフェ等



2. 未来の主役に投資する！（教育・子育て）

- ・ 少子化は、松田町の将来人口に大きな影を落としている。
- ・ 地域とのつながりや体験も少なくなっている。
- ・ ずっと松田で暮らしたいと答えた子どもは、19.6%（町内の中学生アンケート：209人）という結果。
- ・ 複雑多様化する社会を生き抜くため、必要なスキルも高度化している。
- ・ 未来の松田を支えるのは、次世代を担う子どもたち。



● 未来の主役を育む（投資）ことは、未来の松田町を創ること。

①まちの将来を担う 次世代の主役を育む 中学校は平成30年度末に統合します

●71年の思い出を刻んだ両校

松田中学校と寄中学校は、共に昭和22年5月に開校以来、71年の歴史を刻んできましたが、来年3月に閉校・統合し、新たに「松田中学校」として生まれ変わります。

昨年度から統合準備委員会及び検討部会を設置し、通学方法、制服、PTA組織の運営方法等について議論を深め、準備を進めています。



< 3月に閉校式、4月に開校式が開催されます >

①まちの将来を担う 次世代の主役を育む 学校・教育のあり方を議論しています

●松田の教育を見つめ直す

複雑多様化する社会で生きぬく力を身につけるために、現在、学校制度のあり方を検討しています。平成28年度の法律改正により、小中一貫教育等の制度が運用面で弾力化されましたが、本町は、現行の保育園、幼稚園、小学校、中学校の連携を、より一層強化した「保・幼・小中一貫教育」に向けた体制を推進していきます。



●校舎の建替えに取り組みます

建設後45年が経過した松田小学校は、老朽化（耐力度）が課題です。文部科学省が推奨する「木の学校づくり先導事業」の支援を活用して、松田小学校を、国産木材を使った木の温もりある校舎に建て替えることを検討しています。

2020年度の着工に向けて準備を進めている状況です。



①まちの将来を担う 次世代の主役を育む 松田独自の教育施策を展開しています！

●ICT推進、英語検定・トップランナー補助制度



将来の松田町を支える人財を育成するためには、教育の充実は欠かせません。また、魅力ある町として選ばれる要素としても重要です。本町では、ICT教育を平成27年度から県下自治体に先駆けて、取り組んでいます。

授業や課題学習などでタブレットを活用し、プログラミング教育(平成32年度に始まる学習指導要領に位置付け)も推進しています。

●英語検定補助

グローバル人財を育成するため、小・中学生を対象に英語検定の受験料を全額補助します。

*例)4級:2,600円



●トップランナー補助

文化、スポーツ活動で活躍する中・高校生(トップランナー)の活動費を一部助成します。

*要審査

②子育て世帯への応援も充実 松田の子育て支援 自慢のメニュー



●町独自の支援事業 ライフステージ順

- ②7 特定不妊治療費助成事業～治療費用の一部、上限20万円
- ②8 不育症治療助成事業～治療費用の一部、上限30万円
- ②1 妊婦健康診査費用の補助～定期的な健康診査費用を補助(券)14回分
- ②5 妊産婦歯科健康診査事業～妊娠中1回及び産後1年以内1回 計2回の健診
- ①6 ブックスタート事業～親子の心のふれあいに、絵本2冊を配付します
- ①7 小児医療費助成制度～中学生までの医療費を助成します
- ③0 小児インフルエンザ予防接種助成制度～本年度からスタートします！
- ①2 チャイルドシート購入補助制度～中古を除く購入を補助(1/2)します。上限5,000円
- ①1 学童保育～小学校施設内で全学年を対象に実施します。 現入室児童数●人
- ②7 一時預かり保育(幼稚園・保育園)～町立幼稚園及び松田さくら保育園で実施
- ①4 子育て支援センター事業～松田さくら保育園にも新設し、町内2箇所を実施
- ①8 ファミリーサポート・センター事業～登録制の会員相互の子育て援助活動です
- ②7 子育て世帯支援事業補助金～子供2人以上の世帯の水道料の一部を補助

③国際交流事業に取り組んでいます！ 松田スタイルでおもてなし交流&インバウンドを！

●グローバル社会へ対応できる人財を

東京オリンピック2020では、多くの外国人観光客の来日が予想されています。

松田町では、平成26年度から観光まつりなどのイベントに外国人ツアーを開催し、国際交流事業を推進しています。

国際社会への興味を向上させ、貴重な体験をすることで、グローバル社会へ対応する人財を、さまざまな取組みで育成していきます。



●インバウンドのチャンスに向けて環境整備を

多くの外国人をお招きするには、受入環境の整備が必要となります。町では昨年度、勉強会、観光モニターツアー等を開催したり、英語版ホームページを開設したりして、環境整備に取り組みました。



③国際交流事業に取り組んでいます！ 観光まつりに、大使館や米軍基地から約60人

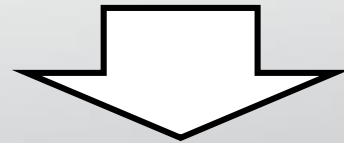


●イベントは、ボランティア手作りで企画&運営



3. 町の強みをもっと強く！（駅・住・自然）

- ・ 松田の特徴（自慢）は、自然・交通・住まいの3本柱。
- ・ 鉄道の2駅を有し、主要な国県道が交差する松田は、県西地域の交通の要衝として歴史と文化を育んできました。
- ・ その駅前整備は、町民だけでなく足柄地域の願いでもある。
- ・ 交通の利便性や温暖な気候から住まいへのニーズも強い。
- ・ 水源を守る豊かな森や清流は、里山を、そして松田の暮らしを支えてきました。



●こうした松田の強みを見つめ直し、さらに強靱化することが、魅力アップと持続性を構築する有効な手段となります。

① 駅前整備は、松田、そして足柄地域の願い 賑わい・活力を向上させる最重要施策



● 町民ニーズ＝期待が最も高い

町民アンケートで「松田は住みよい」との回答理由で「交通が便利」とされた方は、約58%。一方、各種施策の評価で最優先に取り組むべき事業が「駅周辺の整備」という結果となりました。

平成28年度から協議会において、検討を進めており、今年度は、整備の基本構想を策定します。

駅は町の顔、県西地域北部の玄関口として大きな役割を担う

① 駅前整備は、松田、そして足柄地域の願い 協議会でまちづくりの課題と方針を整理

【駅周辺のまちづくりの課題】

- ・ 通勤通学時の歩行者、送迎車両、路線バス等による交通混雑が生じているため
駅前の**歩行者等の安全の確保が必要**
- ・ 「県西地域北部の交通の玄関口」に
ふさわしい**魅力的な顔づくりが必要**
- ・ 主要な生活道路における**円滑かつ安全な交通処理が必要**
- ・ 駅に近い利便性を活かした**定住の促進**
- ・ 駅周辺の**未利用地の活用**

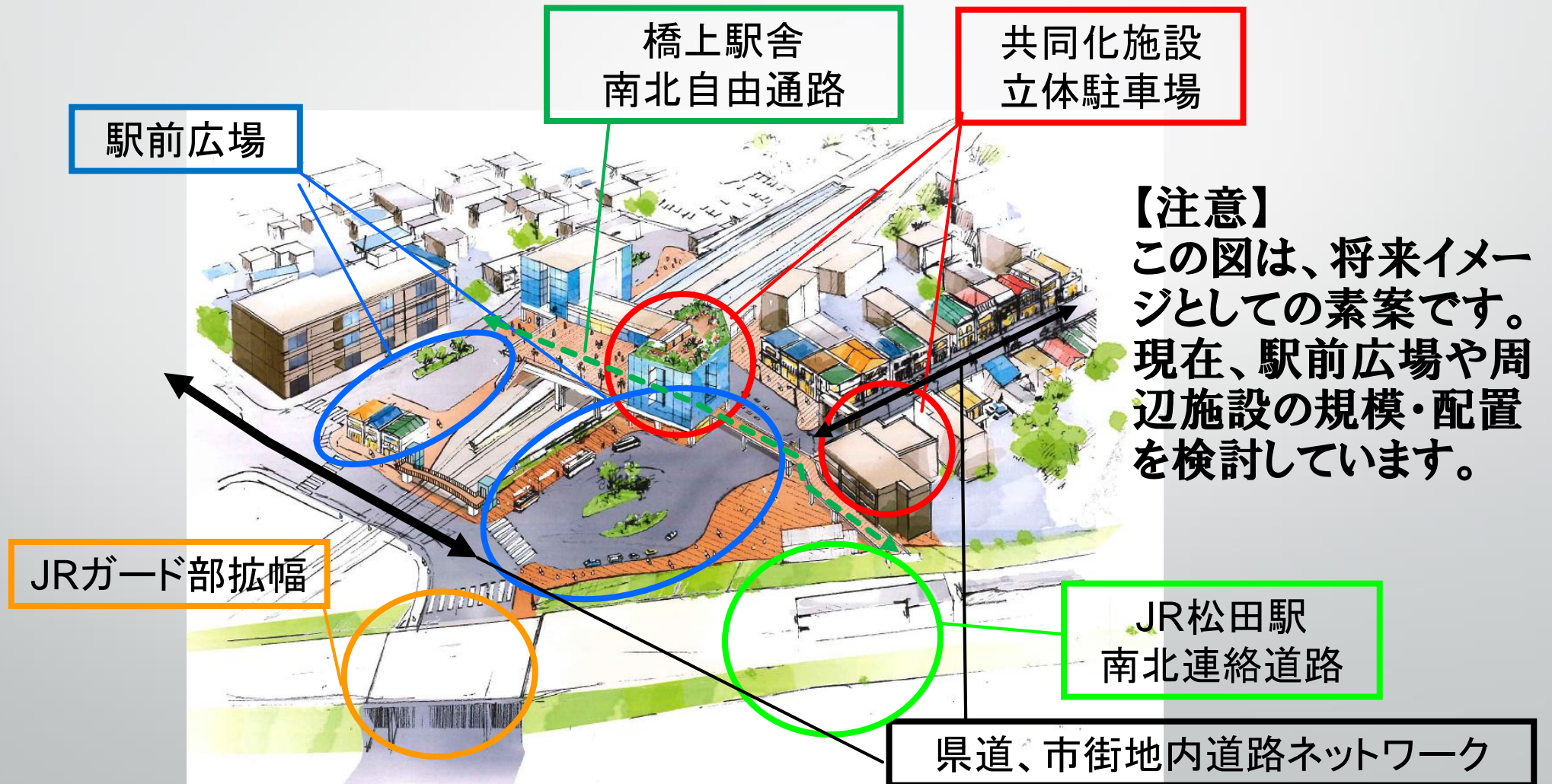
【まちづくりの方針】

【将来像】

足柄上地域の玄関口
賑わい・活力を生み出す
まちづくりの実現

- ① 交流・活力を促進する交通拠点の形成
- ② 魅力・賑わいの創出
- ③ 安全・安心なまちの形成
- ④ 環境・景観・地域資源を活かしたまちづくり
- ⑤ ITの高度化に対応した施策の展開

①駅前整備は、松田、そして足柄地域の願い 駅前広場周辺の将来像



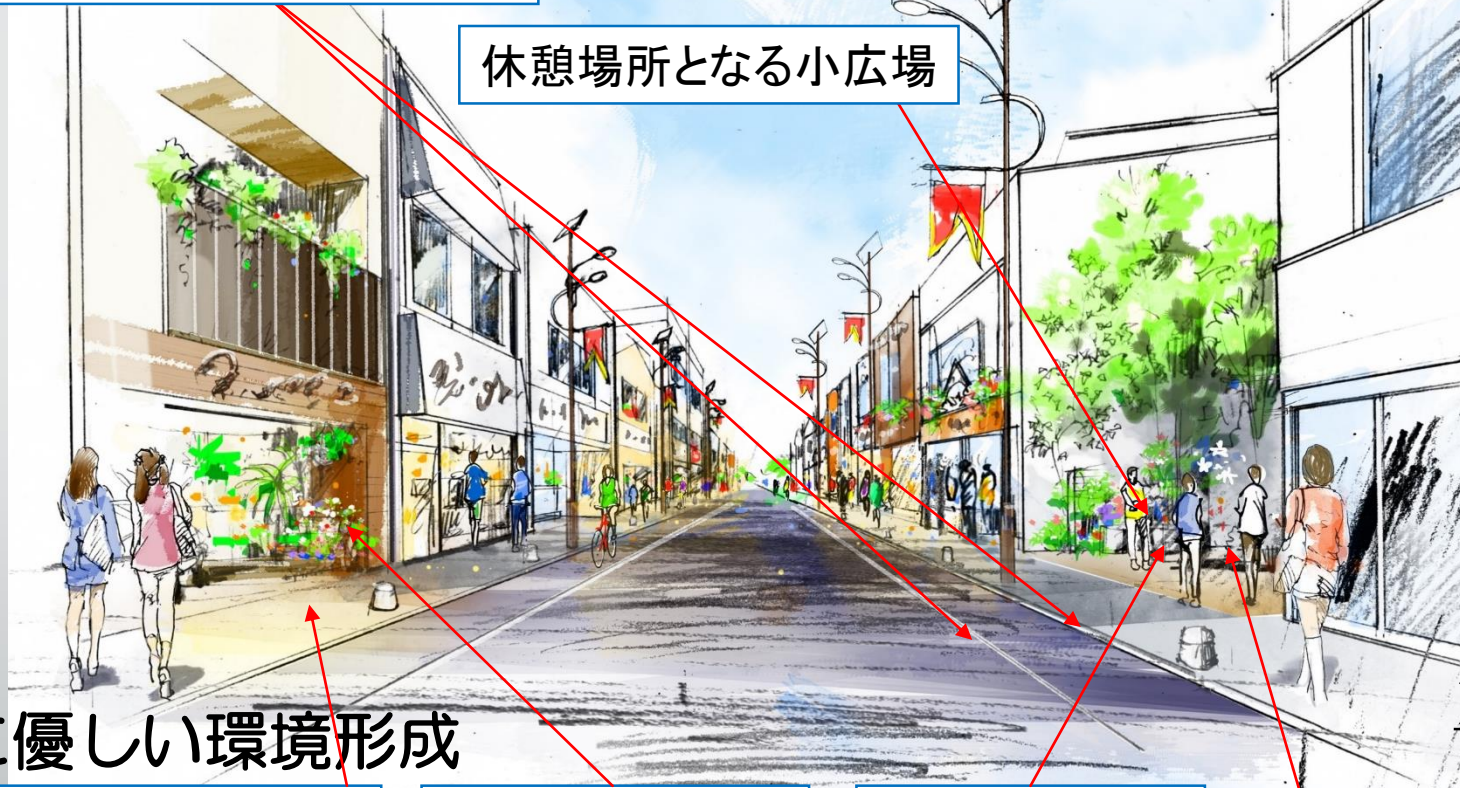
① 駅前整備は、松田、そして足柄地域の願い ロマンス通りの将来像

● 安全に歩ける歩行者空間の確保

歩車分離による安全性の確保

太陽光発電による照明灯

休憩場所となる小広場



〔小広場の事例〕



● 人に優しい環境形成

歩道や店舗等での段差の
解消等バリアフリー化

道路沿道や敷地
内などでの緑化

ベンチ等休憩
施設の設置

案内サインなど人にやさし
い街なかサインの設置

※イメージ図です

① 駅前整備は、松田、そして足柄地域の願い 駅周辺地域整備のスケジュール

細別	平成30年度 (3年目) 2018	平成31年度 (4年目) 2019	平成32年度 (5年目) 2020	平成33年度 (6年目) 2021	平成34年度 (7年目) 2022	平成35年度 (8年目) 2023	平成36年度 (9年目) 2024	平成37年度 (10年目) 2025	平成38年度 (11年目) 2026
基本構想の策定 (事業手法・概算 事業費等の整理)	基本構想 の策定	← ・権利者、再開発事業企業者意向調査 ・パブリックコメント～リーフレット作成 等							
用地交渉・買収					用地交渉・買収				
測量・現地調査		調査・測量 (現況)		調査・測量 (用地)					
実施設計			実施設計						
本工事						本工事			
都市計画決定等 法定手続 (国・県・警察 協議)		都市計画決定等法定手続							

① 駅前整備は、松田、そして足柄地域の願い ニーズの高かった休憩・案内所を開設



●ご利用ください「つむGO」！

新松田駅・松田駅前には、バスやタクシーも発着する交通の起点です。以前からバス等の待合や休憩、更には観光案内機能への要望がありましたが、この度、所有者のご理解のもと新松田駅北口広場前の空き店舗を改修し「つむGO」を開設しました。

●バス事業者の協力で365日

つむGOは、富士急湘南バス(株)と箱根登山バス(株)のご協力により、365日開館しています。バス等の待合など、どなたでも無料でご利用いただけますので、ぜひお立ち寄りください。

■開館時間

午前8時～午後6時

■年中無休・トイレ有

■無人休憩所ですので、
譲り合ってください

②「住みやすい」から「住んでみたい！」へ 住宅整備事業は本年度中に完成します



●籠場地区

町営住宅集約やコミュニティ形成
3階建 21戸
(1K:9戸、1LDK:12戸)
平成30年10月完成予定



●町屋地区

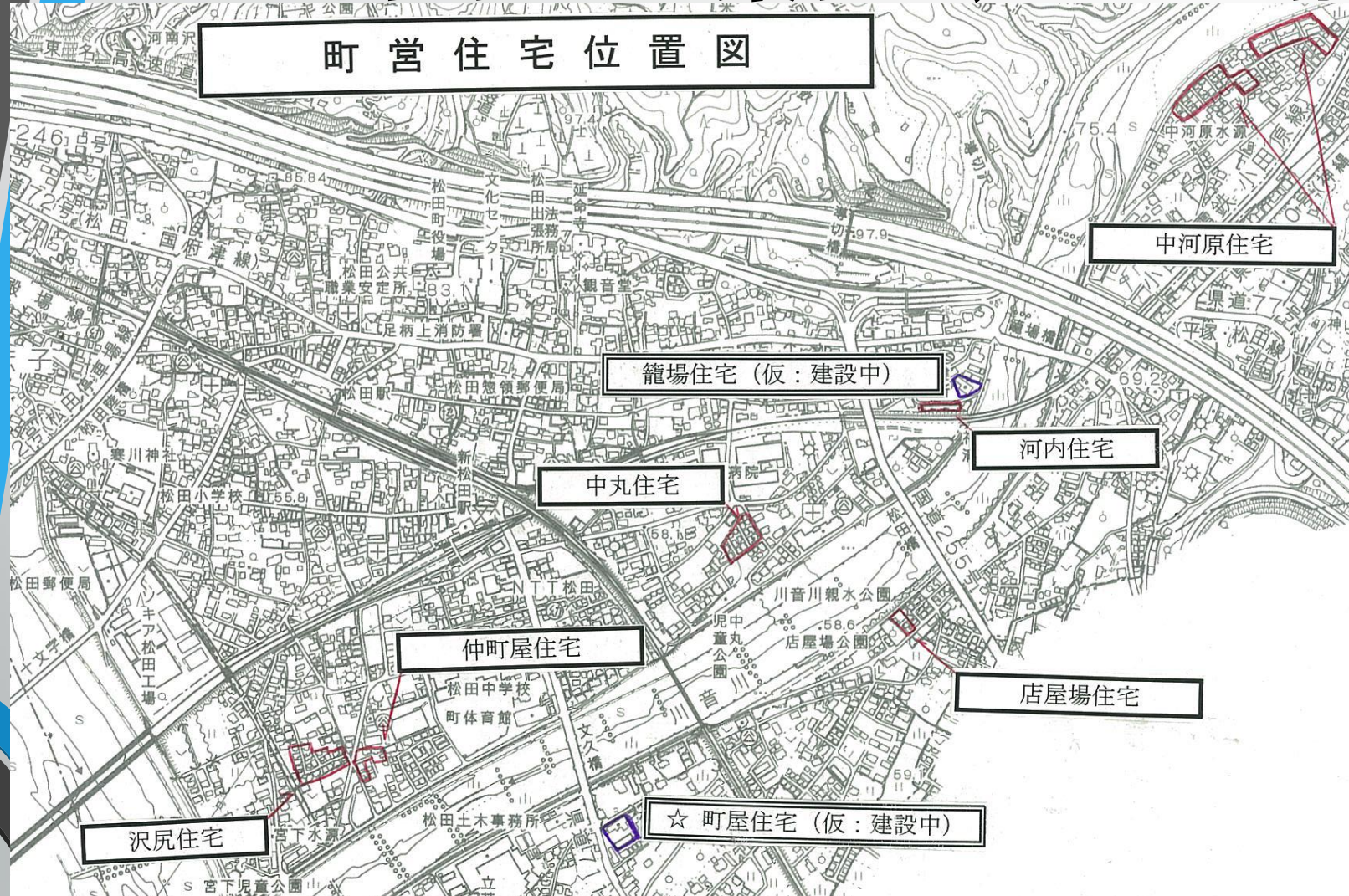
子育て世帯向け
4～7階建 28戸
(2LDK:10戸、3LDK:18戸)
平成31年2月完成予定
*入居者募集は10月～

完成イメージ図



両住宅は、民間の資金、経営・技術的能力を活用する「PFI」という手法で建設、維持管理を行います。

②「住みやすい」から「住んでみたい！」へ 町営住宅を集約し、土地の有効活用を推進



【町営住宅の分布】
町内には6団地、62戸の町営住宅がありますが、多くの住宅が昭和中期の木造住宅であるため、耐用年数を経過し老朽化が著しいものとなっています。

今回、籠場住宅(仮)を建設し計画的に集約を進めるとともに、移転後に空地となる土地が有効に活用されるよう取り組んでいます。

②「住みやすい」から「住んでみたい！」へ 町内の空き家は、バンク制度で利用を促進

●町内に空き家は82件

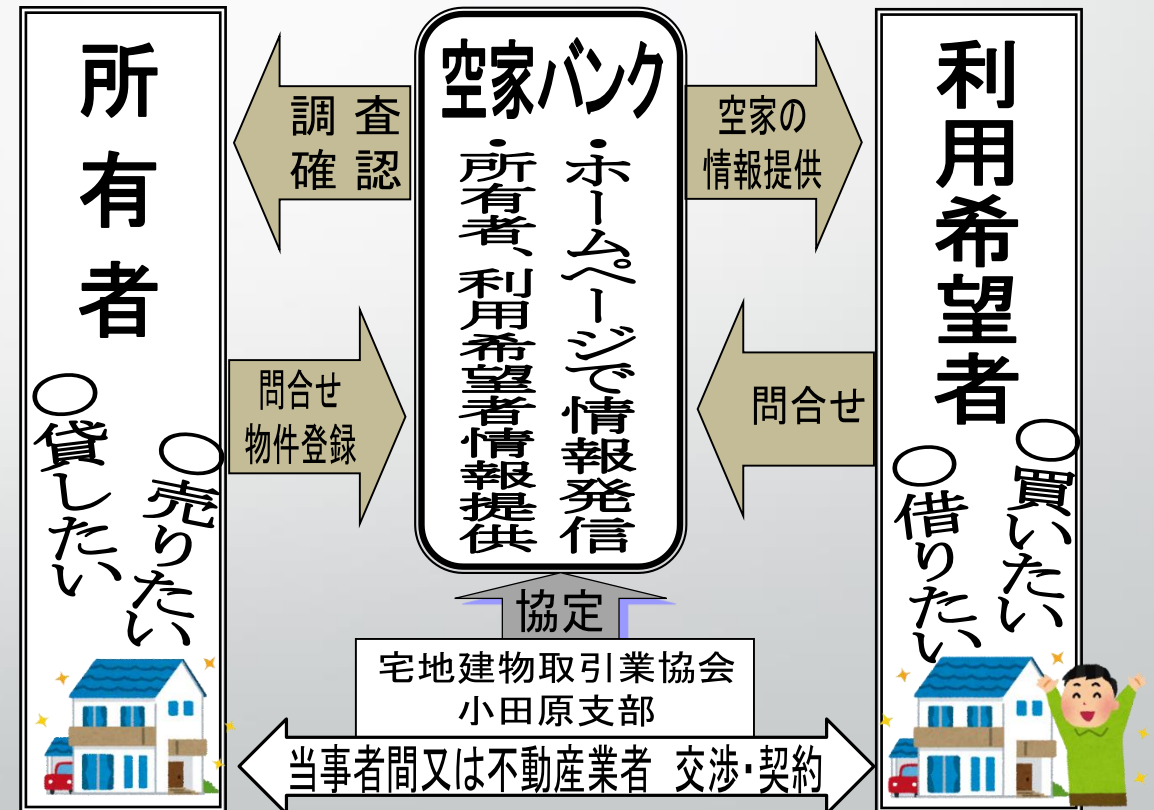
近年、社会問題となっている空き家の状況は、調査を実施した結果、82件を確認しています。

●民間支援のバンク制度

町では、空き家物件の所有者と利用希望者をマッチングするバンク制度により、空き家の利活用を促進しています。

制度の運用は、宅建協会と協定した結果、登録・成約件数は大幅に増加しました。

▼松田町空き家バンク制度



③緑と清流のまち発 エコ&エネルギー施策 賢い選択で自然環境を守る

●住みよい理由の一番は？

町民アンケートで「松田は住みよい」と回答した理由のトップは「豊かな自然環境に恵まれているから」で、約70%でした。特に、深山と清流に囲まれた里山である寄地域においては、この自然を守り、かつ、エネルギーへと転換するチャンスがあります。



●今年もCOOL CHOICEで・・・



町では、平成28年度に地球温暖化対策や快適な暮らしにつながるあらゆる「賢い選択」行動を推進するCOOL CHOICE宣言を行い、CO₂削減に関する取組みを進めてきました。

今年も地域の企業や団体等と共同して「エコライフマルシェの開催」「EV&PHEV試乗会」「ゼロエネルギー住宅の推進」を予定していますので、ぜひご参加ください。

③ 緑と清流のまち発 エコ&エネルギー施策 再生可能エネルギーの利用促進ルールを策定

● 自然は「守る」から「活用」へ

本町の豊かな自然は、後世に残さねばならない貴重な財産ですが、放っておけば荒廃してしまいます。そこで、保全に向けて再生可能エネルギー(太陽光・水・風等)としてのポテンシャルに着目し、活用を促進する取組みを進めています。



● 「活用」から地域の「活性化」へ

再生可能エネルギーの利用促進に向けては、町としての姿勢を明らかにするルール(条例)を策定します。

専門家や地域の方で構成する検討会で内容を協議して、再生可能エネルギーが、地域経済の活性化に繋がり、持続的な取組みとできるような仕組みづくりを目指します。



③ 緑と清流のまち発 エコ&エネルギー施策 地域資源を新たな再生可能エネルギーへ



● 森の地域資源を活用

本町には、水源林をはじめとする森林が豊かである一方、近年は維持・保全が難しくなっています。

この森から発生する木質バイオマス(未利用のまま放置されている間伐材)を、再生可能エネルギーとして利用することは、環境保全・向上、地域資源の活用といった相乗効果が見込まれます。

● 導入の可能性調査 → 計画策定

木質バイオマスを、再生可能エネルギーとして活用するために、今年度、次の調査によって導入・持続の可能性を検証し、計画を策定します。

- ・ 林地状況や木材の種類
- ・ 導入対象施設
- ・ 製造、加工のコスト把握



◆ ◆ ◆ 今後、取組みを進めていく事業等 ◆ ◆ ◆

- 1 松田山の保全・活用に関するルール作り
- 2 松田の美味しい「水」資源を守るルール作り
- 3 高齢者が元気に活躍する福祉施策の充実
- 4 ICT(情報通信技術)とAI(人工知能)の可能性を引き出した事業の推進
- 5 町制施行110周年記念事業はオール松田で推進